

**平成26年度沖縄県計画に関する  
事後評価**

**平成30年10月  
沖縄県**

### 3. 事業の実施状況

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【No.14】 在宅歯科人材育成支援事業	【総事業費】 2,932 千円
事業の対象となる区域	北部、中部、南部、宮古、八重山	
事業の期間	平成 26 年 12 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	在宅歯科治療に対応できる人材育成を図るため、指導医及び専門医を招聘した研修の実施に係る経費を支援し、在宅歯科治療の推進を図る。 ・ 歯科医療従事者の年間受講者数（延べ 120 人）	
事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 29 年度は計 12 回の研修を行い、延べ 502 名が受講した。</li> <li>・ 歯科訪問診療を実施している診療所数 H28 年 163 件 → H29 年 289 件</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>超高齢化が進み、診療所に通院できない介護者や要介護者が増加することが予想される中、住み慣れた地域での、居宅における在宅歯科治療に対応できる歯科医師、歯科衛生士等の人材育成をすることで、地域において質の高い医療提供体制が確保できる。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>沖縄県歯科医師会は地域医療再生基金を活用した在宅歯科研修の実績があり、講師やインストラクターの確保、実習教材の調達、関係機関への周知等、コストの低減化を図り、効率的に事業を実施することができる。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO.51】 精神障害者地域移行・地域定着促進基金事業	【総事業費】 6,342 千円
事業の対象となる区域	北部、中部、南部、宮古、八重山	
事業の期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者の平均在院日数 H23 年 294.3 日 → 増加抑制</li> <li>・精神障害入院患者の福祉サービス事業所入所者数 H26 年 0 人 → 50 人</li> </ul>	
事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者の平均在院日数 H23 年 294.3 日 → H28 年 253.5 日</li> <li>・精神障害入院患者の事業所仮入居者数 H26 年 0 人 → H29 年 3 人</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> コーディネーターの配置を 4 圏域で行うことにより、保健・医療・福祉の連携体制が強化された。また、本事業により、各病院へ補助を行うことによって、入院患者の地域移行を円滑に進めるための院内委員会の開催が促進された。入院患者が試行生活を通して、病院外で生活を行うイメージの育成及び退院後の環境変化への不安の緩和を行った。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 事業を県精神保健福祉士協会及び県精神保健福祉会連合会に委託することにより、同会会員はもとより、関係する医療機関や事業所等の協力を得ることができ、効率的な実施体制の確保及び経費の抑制が図られた。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 52】 心身障害児（者） 歯科診療拡充事業	【総事業費】 16,000 千円
事業の対象となる区域	中部、南部	
事業の期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	沖縄県口腔保健医療センターの歯科医師等の配置数を増やし、受診機会の慢性的な不足状況の解消を図る。	
事業の達成状況	沖縄県口腔保健医療センターでの診療及び巡回検診等による年間受診者数 H26 年 5,000 人 → H29 年 7,464 人	
事業の有効性・効率性	<p><b>（1）事業の有効性</b> 治療の申込みから診療まで 2 ヶ月程度かかる状況から短縮が見られた。</p> <p><b>（2）事業の効率性</b> 歯科医師等の配置数を増やすことにより、診療までの待ち時間が減少することで、受診機会の増へと繋がった。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.23】 歯科医療従事者技術向上支援事業	【総事業費】 2,782 千円
事業の対象となる区域	北部、中部、南部、宮古、八重山	
事業の期間	平成 26 年 12 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	・人口 10 万人対歯科医師数 (62 人→増加)	
事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は計 14 回の研修を行い、延べ 476 人の歯科医療従事者(歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士)が受講した。</li> <li>・人口 10 万人対歯科医師数 H26 年 59.4 人 → H28 年 59.6 人</li> <li>・人口 10 万人対歯科衛生士数 H26 年 73.8 人 → H28 年 77.7 人</li> <li>・人口 10 万人対歯科技工士数 H26 年 17.2 人 → H28 年 17.4 人</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 研修等を実施することで、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の技術向上を図り、歯科関係医療従事者の確保に努めることができる。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 専門的知見を有し、かつ、研修会の講師や研修対象者である歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士とつながりのある沖縄県歯科医師会へ補助することで、歯科医師及び歯科衛生士、歯科技工士等に対する研修を一括して行え、講師やインストラクターの確保、実習教材の調達、関係機関への周知等、コストの低減化を図り、効率的に事業を実施することができる。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.32】 島しょ・へき地の地域包括ケアシステム構築支援事業	【総事業費】 4,072 千円
事業の対象となる区域	北部、中部、南部、宮古、八重山	
事業の期間	平成 26 年 12 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	在宅等療養患者の看取り割合 H22 年 14% → H29 年 16.1%	
事業の達成状況	<p>平成 29 年度は、本事業で昨年度までにモデル島で開発した島しょ型地域包括ケアシステム構築支援のための「支援プログラム」を波及するために「波及プログラム」を開発し、実施することであった。</p> <p>開発された支援プログラム（住民参加の 10 ステップ）について、離島町村の介護保険担当者や地域包括支援センター職員等に紹介し、周知を図った。また、2 つのモデル島は住民参加の高いレベルに達していたが、モデル島以外の島でヒアリングを行い、支援プログラムの段階を評価した。住民を主体とした支援プログラムを波及するためには、島ごとのステップ段階のレベルにあわせた支援を行うことが明らかになった。数値目標として、在宅等療養患者の看取り割合を平成 29 年度までに 16.1% にすることを掲げたが、平成 28 年度のデータで 17.1% である。</p>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>都市地域とは異なり、保健医療福祉介護の脆弱な島しょ地域での地域包括ケアシステム構築は住民の主体性（住民参加）が欠かせない。モデル島では、住民参加のレベルが高くなっていた。住民の主体性による地域包括ケア活動は、介入前には 2 つのモデル島において見いだせなかった。しかし、2 年間の介入により、介護ヘルパーが各島で 10 名以上誕生し、その人材を中心に見守りや介護予防活動が誕生した。また、他の島々の住民の主体性のレベルを評価すると 10 ステップ中、半分以下の段階であったことから、支援プログラムを用いた住民の主体性発揮は図れることが検証された。なお、2 つのモデル島でこのような住民の主体性が高くなったのは、住民会議を通して介護人材の必要性が挙がり、A 島 15 名、B 島 23 名の介護人材が誕生したことで事業を推進した。</p>	

	<p>介護人材が育成され、島での地域ケアが推進されることで、在宅等療養患者の看取りにも影響していると考え</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>モデル島で支援プログラムを開発し、その支援プログラムで島々の住民参加のレベルを評価し、島ごとの実情に応じた支援することは、実態と支援がマッチングすることになり、効率性が得られると考える。また、介護人材を島ごとに養成することで、住民参加のレベルが高まり、介護サービスの誕生やこれまでの介護サービスの介護人材となっている。</p> <p>今後、支援プログラムを多くの島々に波及し、住民の主体性発揮による地域包括ケアシステムの構築により、在宅等療養患者の看取りの割合は増加することが期待できる。</p>
その他	

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.33】 専門看護師・認定看護師の育成事業	【総事業費】 35,068 千円
事業の対象となる区域	北部、中部、南部、宮古、八重山	
事業の期間	平成 26 年 12 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門看護師数 H26 年 5 人 → 全国平均</li> <li>・ 認定看護師数 H26 年 139 人 → 全国平均</li> </ul>	
事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門看護師数 H29 年 14 人 (全国平均 44 人)</li> <li>・ 認定看護師数 H29 年 230 人 (全国平均 395 人)</li> </ul> <p>[人口 10 万人あたり]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門看護師数 H29 年 0.97 人 (全国 1.64 人)</li> <li>・ 認定看護師数 H29 年 15.94 人 (全国 14.63 人)</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>認定看護師の育成により、高度化・専門化される医療現場において専門分野に特化したケアが提供できるようになるとともに、各分野のリーダーの育成にも繋がり、県全体の医療の質の向上が図られたと考える。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>認定看護師の資格取得には、教育機関において 6 ヶ月以上の研修を受ける必要があるため、研修受講料・県外旅費・滞在費・現場での代替看護師の確保に係る費用等が病院にとって負担となっている。それらの必要経費について補助することにより効率的に認定看護師の資格取得者を増やすことができた。</p>	
その他		



事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.44】 医師確保対策事業（地域枠修学資金）	【総事業費】 94,160 千円
事業の対象となる区域	北部、中部、南部、宮古、八重山	
事業の期間	平成 26 年 12 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	離島・へき地における医療提供体制の維持に必要な医師の安定的な供給 (離島・へき地医療機関における医師の充足)	
事業の達成状況	地域医療に従事する医師を確保するため、琉球大学医学部地域枠学生 (88 名) に対する修学資金の貸与を実施した。	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 地域枠修学資金の拡充により増員された被貸与者（医学生）が卒業・研修修了後に離島・へき地の医療機関に勤務することで、県内の医師の不足及び偏在解消に寄与したものとする</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 修学資金の貸与により医学生の教育の段階から関与し、地域医療に対する高い意識を持った医師を養成することで、地域医療に従事する医師の確保を円滑かつ効率的に進めることができたとする。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.46】臨床研修医確保対策事業	【総事業費】 19,693 千円
事業の対象となる区域	北部、中部、南部、宮古、八重山	
事業の期間	平成 26 年 12 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	県内臨床研修病院の魅力を広く県外医学生に発信することで、採用される初期研修医数の増加を図る。 ・初期研修医採用者数 H27 年度 135 名 → H30 年度 140 名	
事業の達成状況	平成 29 年度の事業実施により、平成 30 年度は初期臨床研修医を 135 名採用することができ、医師の確保に繋がった。 ・初期研修医採用者数 H27 年度 135 名 → H29 年度 135 名	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的要因から医学生に魅力を伝える機会が少ない県内の臨床研修病院に対し、大都市（東京、大阪等）で行われる、医学生・研修医を対象とした合同説明会へ、参加することにより、県内病院の初期・後期臨床研修医の確保につながっている。</li> <li>・多くの初期・後期臨床研修医を確保することは、指導医や勤務医として、一定割合は県内に定着するため、医師を確保する上で有効な手段となっている。</li> </ul> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の全ての基幹型臨床研修病院が合同で説明会に参加することで、集客力を高め、医学生との情報交換機会の増加につながるため、効率的に研修医の確保が図られている。</li> </ul>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.48】周産期救急対応者育成事業	【総事業費】 5,610 千円
事業の対象となる区域	北部、中部、南部、宮古、八重山	
事業の期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	人口 10 万人対主たる診療科が「産婦人科・産科」に従事する医師数の増加	
事業の達成状況	中部地区及び宮古地区で産科救急対応研修を実施した。(受講者数 72 名) 人口 10 万人対主たる診療科が「産婦人科・産科」に従事する医師数： H26 年 11.1 人 → H28 年 10.8 人 人口当たりの産婦人科・産科医師数は微減となったが、特に人材不足が課題となっている北部圏域で 2 人増となるなど一定の改善が見られた。	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 産科医が処置に入るまでの妊婦の救急患者に対し、適切な初期対応ができる産科医以外の医療従事者を育成する教育コースを実施する経費を支援することにより、産科医の負担軽減・勤務環境の改善を行い、産科医の定着を図った。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 県立病院事業局に委託することにより、研修開催数を絞り込みつつも、各圏域の県立病院職員を中心に受講者を動員できることから、効率的かつ効果的な事業実施を図られた。</p>	
その他		

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.50】医療人育成事業	【総事業費】 6,756 千円
事業の対象となる区域	北部、中部、南部、宮古、八重山	
事業の期間	平成 26 年 12 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	・研修回数 H28 年度 4 回 → H29 年度以降 8 回	
事業の達成状況	平成 29 年度は 8 回の合同研修を実施し、のべ 314 名の初期臨床研修医が研修に参加し、沖縄県の初期研修医の技術向上を図られた。 ・研修回数 H28 年度 4 回 → H29 年度 8 回	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修医に対し質の高い研修を提供することが初期・後期臨床研修医の確保に繋がるため、県内全ての基幹型臨床研修病院の指導医が合同で研修プログラムを作成し、研修医に提供することで、教育研修体制の充実を図っている。</li> <li>・多くの初期・後期臨床研修医を確保することは、指導医や勤務医として、一定割合は県内に定着するため、医師を確保する上で有効な手段となっている。</li> </ul> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内、全ての基幹型臨床研修病院の研修を参考にすることで、効率的に優れた研修プログラムを作成できている。</li> <li>・県内全ての研修医に対し、優れた研修プログラムを提供することで、沖縄県全体が魅力ある研修環境となり、効率的に研修医を確保することに繋がっている。</li> </ul>	
その他		